

広報



ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場文書広報課編集

電話 (01885) ② 代 2100番

印刷所 湖 東 印 刷 所

電話 (01885) ② 2430番

一部 5 円 郵便番号 018-17

毎月 1 日・15 日発行



福 笑 い 自 分 の 作 に 顔 そ む け

お年寄りと子どものクリスマス

12月14日、古川町子ども育成会では「子どもと老人のクリスマスパーティー」を開いた。対象は小学校6年生までと、老人クラブのみなさんと、合わせて70人ほどの参加者がいた。気の早いクリスマスであったが年末の気のいらだちを思うと、この方がよいのかも知れない。

あうんの呼吸にみほれる

雪のちらつく中で、おとうさんたちは餅つきに精を出し、おばあさんはあい取り、それを取りまく子どもたちは、その手さばきとあうんの呼吸に見ほれていた。赤い服と白いヒゲがよく似合うやせ目のサンタのおじさんは、子どもたちにケーキを、お年寄りにくつ下カバーをそれぞれプレゼントした。多彩なプログラムの中で人気のあったのは、ミニマジックショーと「福笑い」であった。このパーティーのねらいは、同じ町内でいても大人同志はともかく、子どもたちとお年寄り是一同に会することがないためこの家の子どもかわからない場合が多いので、楽しみながらお互いのコミュニケーションを深めようと言うものだった。

差別のうっせき

最近というよりも、ここ2～3年前から家庭内、学校内暴

対話の機会をより多く

子ども育成会のクリスマスパーティーから

力は目にあまるものがある。昨年は、上流家庭とみられる大学教授の息子が「こよなくいとしんでくれた祖母」を殺し、つい先ごろはまたエリート家庭の二男が両親を殺害した。この2件に共通なことは、学業の落ちこぼれが、しばしば暴力と非行に結びつき、それも学力低辺校とか、子どもの勉強などみてやれない家庭ではなくて、エリート高校、上流家庭の子息にそれぞれみられたことである。

校内外暴力の最たるものには、大学生の角棒ヘルメット型がある。彼等には「革命」という思想とかイデオロギーとか、普通の人には理解できないが三分の理くつがある。しかし中学生の集団暴力は一体どうしたことだろう。ニュース解説者で暴力少年と対談した小尾圭之介氏は「生徒は授業で差別され対話の中で差別され」たうっ積の爆発が集団暴力に結びついていると述べていたが、本来楽しいはずの学校で差別され、家庭で成績の悪さをけなされては浮かぶ瀬もあるまい。受験者本位の過密ダイヤ、新幹線教育の落し子、どこの学校にも内在する問題である。基本的には対話の不足以外なにもないと言われるが、その意味でクリスマスパーティーのような、地域ぐるみの対話の場を少しでも多くすることが運用の仕方でも子どもたちの成長にどれほど役に立つか計り知れない。

（広報紙中にある写真を欲しい方にはおあげします）

ごみ収集の無料化を

小林(友)：農村部の不燃物は、空地に穴を掘り埋めるようにと当局の指示であるが、農村部の空地にも限界がある。正直に穴を掘っている人が馬鹿をみないように、また不法投棄などないようご協力を願う意味からも、無料で収集できないものか。

生活廃棄物を個人的に焼却できれば、もっと川などきれいになるのではないかと。当局で焼却炉に助成する考えはないか。

二千三三万円を

ごみのために

一関民生部長

農村部のごみ収集については、燃えるごみは自家処理をお願いし不燃物については、月三回収集している。

五十五年度のごみ収集予算は、二千三三三万円、収集手数料が六六二万円、町の持ち出し額が、千七二〇万円となっている。

昨年度、ごみ焼却施設を造って対処するために予算を計上したが現施設のある岡本地区の一部反対があつて実現できなかったことは本当に残念に思っている。

無料化は不均衡が生ずる

ごみの無料収集は現在町として考えておられない。これは大口にごみを出す人と、一般世帯のように少しより出ない人との不均衡(税金の使い方)が生ずるといふ点からも考えてみなければならぬことだと思っている。

ごみの個人的焼却炉に今までもこの後も補助については考えておられない。

大川地区で共同処理するという

ことで焼却炉を造ったことはあつたが、一年余で管理不十分のため中止している例がある。

富津内川の護岸整備を

富津内川(三)：毎年大雨が降ると、下山内公民館前と中嶋地区のたんのほが被害を受けるので、富津内川の護岸の整備をはかって、川の流れがよどまないようは配慮してもらいたい。

現場をみてから検討

石井部長心得

富津内川は二級河川なので、県が管理している。河川改修の計画は持っておられないようだが、環境整備のため雑草木の除去あるいは護岸の復旧などやっているとある。いづれ問題のある現場を県の方と一緒に視察したいので、下山内の方の日程が決まったら建設課へ連絡をいただきたい。

富津内川は二級河川なので、県が管理している。河川改修の計画は持っておられないようだが、環境整備のため雑草木の除去あるいは護岸の復旧などやっているとある。いづれ問題のある現場を県の方と一緒に視察したいので、下山内の方の日程が決まったら建設課へ連絡をいただきたい。

後継林道を五カ年計画で

渡部産業部長

ご承知のように、五城目後継林道は広域基幹林道の、富津内と馬場目の境界である袖ノ沢から、稜線沿いに広ケ野の堤の下のところへ出る計画である。今年度から五カ年計画で整備しようとして取り組んでいる。

この稜線林道と沢々の林道を作業道などで結ぶ構想もある。稜線事業を進めるなかで、これに通ずる箇所も相当あると思うので、ご提案の件など現状を視ながら対処していきたい。

関係者の意見をききながら

広ケ野の総合的な開発について具体案はないが、木材工業団地の計画は一応持っているものの、移転の条件などいろいろあつて、なかなか煮つもらない。広ケ野は町全体からみても非常に大事な土地なので、このあと、みなさんのご意見を参考にしながら開発していくべきだと考えられる。

都市計画の中で下山内は

小林進

一、町道深堀線の排水が非常に悪いので整備してほしい。

二、羽黒前の区画整理計画はどうなっているかその進捗状況。

三、雀館線の延長はいつごろ下山内までくるのか。

四、国道二八五号線のバイパスはいつごろどのへんを通るのか。

五、都市計画の中で、下山内地域はどのような立場にあるのか。

羽黒前土地

区画整理は国庫補助

石井部長心得

深堀線の場合側溝改良で解消できるかどうか検討させていただきたい。

羽黒前の土地区画整理は、五十二年と五十四年の二年間にわたり関係者と話し合った結果、一応着手したいという考え方で進めている。単独事業は大変なので、減歩率や関係者負担を少しでも少なくしたいので国庫補助事業にするように県側と話し合っている。その補助を受けるためにはいろいろな調査が必要なので、五十六年一年間でその調査を終わりたいと考えている。

雀館線は六〇年すぎかも

広域体育館や町民センター前から希望ヶ丘に上り下山内地区へ抜ける雀館線は延長二・七〇〇メートルだが、現在整備しているところは、馬場目方面への県道(児玉製材所脇)から、岩野地区の国道二八五号線までの一キロ間で、緊急性のあるところから進めている。この計画だと下山内地区の国道へ抜けるのは六〇年過ぎになると思われる。

国道二八五号線のバイパスは、まだ具体性がないという感じを持っており、詳しいことはわかっておらないところである。

街燈とカーブミラーの整備を

小林 栄：国道二八五号線と中学校通学路との分岐点下山内橋との間に一カ所、それに大石市三郎さん宅方へ行くカーブに一カ所の計三カ所へ街燈の設置を担当課へお願いしているが、まだ実現されて

おらないのでご配慮をお願いしたい。

昨年十月、富津内地区の交通安全協会部会を通じて、二カ所にカーブミラーの設置をお願いしているが、これはどのようにになっているのだろうか。

県側に今年も要望

石井部長心得

国道と下山内・広ケ野線の交差点の街燈については、交通量も多くなっているところから、ここを含めて全町的にみて三カ所要望しているが、なかなか予算がもらえず、延び延びになっているところである。あらためてまた要望していきたい。

一関部長

カーブミラーについては、毎年十一月から十二月に地区の安全協会部会に申請してもらい、その翌年度に設置していくという手順を踏んでいるが、五十五年度は五基取り付けを終っている。

下山内の場合、受け付け数と予算の関係から今年度分には該当なかったのでもよく調査してみたい。

杉ヶ崎墓苑に通ずる

道路の整備を

伊藤 稔：杉ヶ崎墓地公園に取り付く下山根線と山根線の道路整備計画はどのようになっているか。

石井部長

墓苑に通ずる下山内方向からの二路線であるが、公園地内であればこの事業に該当するものの途中の部分については町道とか農道という形で整備する方法よりないので、その点を調整しながら園路に結びつくように考えていきたい。

若者流出対策をもっているか

大石喜七郎：国では中核農家育成の方針をもっているが、この地区も農業主体で生活を営んでいる家が多い。しかし、後継者問題でいろいろ悩みも多いため、秋田市などへ若者が流出が次第に激しくなるのではないかと憂慮される町自体として、流出対策にどのような方法を考えているのか。

人口が増える三つの条件

工藤町長室長心得

その町が発展しているかどうかをみるには、各方面からみることでできるわけだが、人口から判断することが多いようだ。人口が増えていく条件としては、第一に、そこに生活を支えるための所得の源泉があるのか。第二には、住民が快適な生活ができる居住環境であるのかどうか。第三には、潤いのある豊かな人生を送れるようなスポーツや文化活動が享受できる施設など整備されているか、など考えられる。

この町では、昭和四十五年にできた総合開発計画に添って町づくりに進めてきたところであるが、第二・第三の条件については、他町村に比較してそん色のないほど整備が進んでいると思われる。今後この計画を基調に整備を進めていくことになっている。

所得の源泉確保に懸命の努力

第一の所得の源泉については、雇用の機会を増やすため新規企業を誘致するのが最も効果的であると考へ、町の工場誘致条例を作りこれをテコに、企業の誘致や町内で

(三ページよりつづき)

既存企業の規模拡大に努めてきたところである。

更には、昭和四十八年に富津内の大手地区へ、農村整備工業導入促進法によって、二・五の用地を確保して企業誘致に努力しているが、昨今の経済情勢は企業の地方進出を促すような状況下でないが、町としては懸命にその誘致に努力しているところである。

一・五次産業を考えた

しかし、働く場の創出というのは、新規に企業誘致することばかりでもないで、七月の機構改革の時点で、商工観光課をはじめ、農政課、林政課を新設して地場産業の振興を通じて、雇用機会の確保に懸命にがんばっているところである。

最近一・五次産業という新語がでているが、これは、地場産業やあるいは第一次産業を基盤にしてそれになんらかの創意工夫を加え価値と魅力をかためていくことを指した言葉である。

具体的に述べると、大分県の湯布院町で畜産をやっている若者たちのグループが、牛一頭牧場という試みに取り組んでいる。これは自分たちの飼育している牛を都会の希望者に一頭ずつ持ってもらうその飼育費として一頭につき二〇万円をいただくといったようなアイデアを創り出して、大変好評を得ているという。八〇年代は知恵くらべの時代だと言われているが、そこに住む人々が知恵を出し合っ

て工夫を重ね、小さくとも個性に満ちた産業を創り出して、地区ぐるみで盛りたてていくこうとする考

えが全国的な広がりをみせている。私たちも、人が増え、住む人がよりよい所得を得るためにはどうすればよいかわかることで、一生懸命努力しているところである。このような機会に、みなさんからも、もつとよいアイデアがあったら私たちの計画の参考にしたいのでぜひお聞かせいただきたい。

移転を契機に新築したい

大石喜七郎：私たちの公民館は使用契約期限切れで移転することになったが、このことである。

町当局へご相談に伺った町長さんはじめ担当の方が非常に心配くださりなにかの事業に組み入れて新築したらどうか、といわれて本心に心からありがたかった。ただ、折角の新築なので、老人の部屋、若妻、婦人が料理実習のできる場所もほしいということとで折衝しているが、坪数の問題が障害となっている現状である。

町当局からはさらにご検討の上来年はぜひ実現していただきたいと特段のご配慮をお願いしたいところである。

新林構事業で来年の建設をめざしているが

具体的に述べると、大分県の湯布院町で畜産をやっている若者たちのグループが、牛一頭牧場という試みに取り組んでいる。これは自分たちの飼育している牛を都会の希望者に一頭ずつ持ってもらうその飼育費として一頭につき二〇万円をいただくといったようなアイデアを創り出して、大変好評を得ているという。八〇年代は知恵くらべの時代だと言われているが、そこに住む人々が知恵を出し合っ

渡部部長

今日の座談会の目玉はこのテーマだと思っている。補助事業でもって解決していく方法はないかと検討した経緯と経過を申し上げたい。新林業構造改善事業で取り組みたいと思っているが、問題は、あの事業費の項目の三〇割を超えた場合は重要変更ということ、林野庁と協議する条件がある。

重要変更した場合建設の時期を計算してみると、最終年度がもう二、三年後になるものと見込まれ

るので、町長から県をはじめ関係機関へ働きかけていただき、苦勞した結果来年ひとつお願いすることと話し合いをつけていただいた

坪数が問題―検討中

県からの連絡で、七百万円くらいは重要変更でなく、県の段階で調整できると言われていた。ところが先ほど会長からお話されたように、いろいろな要望を入れると三〇坪にはなるし、坪単価を計算してみると二〇坪程度よりのぞめない。そこで不足分の十坪を合

体施工として単独に造ったかどうかとする案を持ったわけである。この内容で県へお願いしたら、合休施工はうまくないという返事がきているところであり、来年みなさんの望みどおりの事業ができるかどうかは、もう少し返事をお待ち願いたいと思っている。

みなさんのご満足のいかない点を町長の方からも一度働きかけていただくということで、現況の説明としたい。

無視できない冬のスポーツ町長：この地区で旧道路敷があるので、付近の人へ払い下げるなどして、先ほどお話しがあったゲートボールの練習場用地の確保に役立てたとしても考えているが、内部でもひとつ検討してみたい。

総合体育大会に冬のスポーツが入ってこないが、東北地方は冬のスポーツは無視できない。その関係もあり表彰式の時期をいつにしたらいかが、私も悩んでいる。

テストケースから何かを

人口流出対策の問題であるが、工場誘致、地場産業の振興、一・五次産業の創出などがまず考えら

五城目・内川・大川 56年度 保育園児を募集

募集内容は次のとおりです。

五城目、内川、大川保育園の園児を次のとおり募集します。

入園申請書は役場住民課にありますが、内川と大川の場合はそれぞれの保育園でも交付します。

▽入園申請書の交付期間

12月22日から12月26日まで

保育園は家庭の状況などによって、児童の保育が困難と認められる場合に、保護者にかわって保育する児童福祉施設です。ですから集団生活になれさせるため、あるいは近所に友達がいらないということだけでは入園の対象になりませんので注意してください。

募集人員

五城目保育園 一五〇人

内川保育園 四五人

大川保育園 九〇人

▽対象

五城目保育園 昭和51年4月2日

昭和51年4月1日生まれ

内川保育園 昭和50年4月2日

昭和50年4月1日生まれ

大川保育園 昭和50年4月2日

昭和50年4月1日生まれ

五城目区域 五城目保育園

五城目、馬川、面湯、富田、

上山内、下山内、小倉地区

大川保育園 大川全地区

内川保育園 内川全地区

▽入園申請の受け付けおよび場所 (受付時間午前10時～午後3時)

五城目保育園 1月8日、9日 役場第三会議室

内川保育園 1月13日 内川保育園

大川保育園 1月14日 大川出張所

※以上の日程で都合の悪い人

1月16日 役場第三会議室

▽身体検査 2月上旬の子定

・不明な点は役場 ②2100

住民課福祉係へ問合せください。

れる。一・五次産業、これは町で力を貸してやるけれども、間接的に雇用の場を確保することで、町独自のものではない。

町独自のものとしては、赤倉山荘や恋地園設スキー場、それに屋内温水プールなどがある。

赤倉山荘の場合、おかげ様で月五〇〇六〇万円になるが、人件費油、電気代等の経費が年間六百万円くらいになる。何ももうけはないが人の雇用ができて、婦人会の方々からもいろいろがんばって

らっている。このことを契機に、何かできてくるかも知れないと、淡い期待をもっているが、一つのテストケースである。

温水プールには、秋田市などからバスできている。秋田市あたりでは、クラブの入会金など数万円もするが、五城目のように安くて

誰でも泳げるところは冬期間めったにないので、みなさんも健康のために家族ぐるみで利用してほしい。

安宅地の供給は税金を喰う

さきほど安宅地をという枕言葉が付いたので、該当するかどうかからいって、五城目町の場合この十年間で、一五〇戸くらいの宅地を分譲している。矢崎崎グラ

ンドも区画整理をして宅地化を考えているが、そんなに安くはあがらない。宅地を安く(一般的な価格より)することは、町の税金で補給することであることを知って

いただきたい。五城目町も今盛んに都市改造しているところで、これが一段落すれば地価も安定するのではないかと考えている。

人口減さえ止まれば、みなさん

(おわり)



ロータリークラブの例会で会長から目録を受ける助役

ロータリークラブ

車いすを寄贈

12月4日、五城目ロータリークラブ（会長斉藤久作）から町へ、身障者用車いす一台が寄贈された。
町では、役場を訪れた体の不自由な人にこの車いすを利用してもらうため、町民室に備えつけてある。

おまわりさんと
もちつき

五城目幼稚園

十二月十日、五城目幼稚園でもちつきが行われ、園児たちは今では見られなくなった光景に大喜びであった。

これは、園児たちにもちつきを楽しみながら交通安全を理解してもらおうと、五城目警察署のおまわりさんたちが計画したもので、今年で三回目である。

遊戯室のまん中に臼（うす）が置かれ、園児たちの見守る中、十人のおまわりさんたちがかわるが

写真

おまわりさんと力をあわせて
きねをふる子どもたち

わるもちをついた。
園児たちも実際にきねを持ってもちつきをし、初めての体験にはしゃいでいた。
つきたての八升のもちほは、おかあさんたちの手であんこがつけられみんな美味しかった。その後、おまわりさんのお話と映画があり「道路は右側を歩くこと。道路に飛びださないこと。この二つを守ってくださいね」というお願いに、園児たちは元気な声で「ハイ」と約束していた。

わたしの教員生活 ①

中村 清次郎



わたしが五城目小学校へ来た頃の視聴覚教育は、今のようにスライドや映写機、カセット等はなく、ラジオでも全校放送を備えている学校はまれで、我が五城目小学校でも、教員室隣の玄関わきに一mに一・五m位の機械室があって、そこから全校に放送していた。全校放送と言っても、正面校舎東端と西端の階上階下に、スピーカーが四つあるだけで、ラジオ放送、校内放送に使用していた。然し今のようには感度のよいものではなかった。

戦中の視聴覚教育

一般市民の参加者もあつて見事なものであった。その当時、矢場崎運動場は、県内唯一の公認グラウンドで、全果的な大きな陸上競技大会が行われたが、その大会には、よくこの放送機械が利用され、その係としてわたしが関係させられたものである。

先生で、資金集めの運動を始めたが、たちまち三千余円の金が集まり、これで当時最も新しい映写機と言われた「光音」一六mmトキを講入することになったが、柳谷先生が転任になり、小松冬操先生がその後を引受け、映画教育が進められ、その計画は猿田政夫先生と、わたしが担当させられた。

ため、聞き取れないところも多くあった。
それでも、大スピーカーと言つて四五cm正方形の奥行二五cm位の移動出来るダイナミックスピーカーを使って、毎朝校庭でラジオ体操が行われたのはよい思い出である。特に夏休みのラジオ体操は全町内の子どもが校庭に集まり、一

延寺さんの西側にあった五城座と言う芝居小屋に来る教育映画と称する映写会があれば、見学に行つたもので、その機会も余りなかった。
昭和十五年に保護者会が、子どもたちの映画教育を取り上げ、学校で映写機を購入することになった。その時の学校長は柳谷直比古

学校で日中、子どもにも活用するために暗室がなければ出来なかったもので、体操場（今の役場の総合事務室）を暗室にすることになった。
高等二年男組の担任、伊藤一先生が子どもたちと古新聞や包紙を集め、何枚か重ね、貼り合わせて墨を塗り、しゃべり用にした。その頃の子どもたちはこんな作業も一つの学習であった。

昭和十六年その頃のニュース映画は戦争ものが多く、渡洋爆撃や大陸の戦場等で、劇ものでも戦争につながるものがほとんどであった。それでも「宮本武蔵」の全巻を鑑賞した時は、子どもの喜びも大きかったが、夜の一般公開には好評を受けたことを、今でも記憶している。



16ミリトーキー購入披露

昭和16年春、旧五城目小学校作法室で

写真で見るこの一年

合併25周年の年

今年一年間に町が行った行事の中で、主なものを写真でまとめてみました。

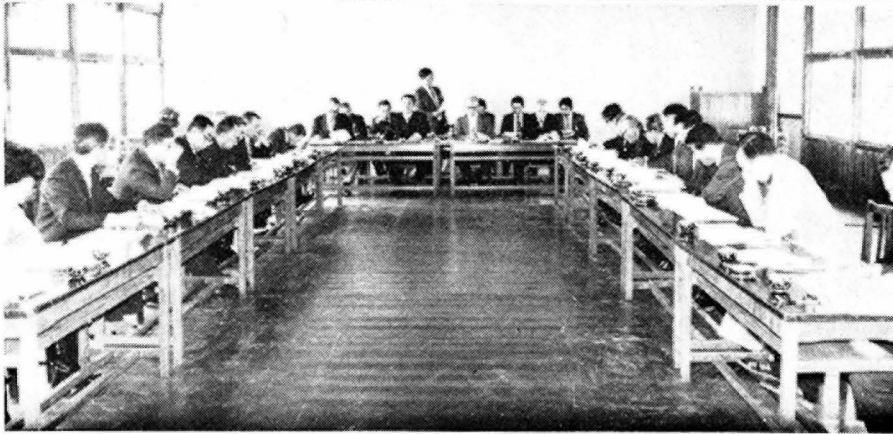
合併二十五周年にあたる今年には長年の懸案であった役場庁舎の建設計画が本格的に実施に移され、内川保育園、大川多目的集会所、雀館運動公園の相撲場などが完成

しました。

また、三月に町議会議員の選挙があり、六月には国政史上初めて衆参両院同日選挙も行われました。

町へはいろいろな人たちが訪れましたが、特にスポーツ関係では、五月に元プロ野球選手の江藤慎一氏が、六月には元卓球

世界チャンピオンの長谷川信彦氏と伊藤繁雄氏が町内の児童、生徒を対象にした指導教室を開いています。また八月の子どもの祭典には、町民センターで合宿していた大相撲大鵬部屋のおすもうさんたちが参加したほか、大鵬親方もかけつけてくれました。



1月26日 役場庁舎建築代表者構成委員会
新庁舎建設のための諮問機関である庁舎建築委員会は、町当局との協議会や先進地の視察を行った。



1月6日 消防出初式 武田副団長を先頭に分列行進。恋地婦人消防団員など約300人が参加した。



2月24日 出稼ぎ者現地激励懇談会(東京)
町長が1人1人に留守家族からの手紙や預かり物を手渡した。



→1月27日 青年議会 温水プールと省エネルギーの関連などについて代表質問が行われた。
↑3月19日 町議会議員選挙
役場第一会議室で行われた開票。
24議席に26人が立候補した。

三月十日日城五



4月10日 内川保育園新園舎に移転 真新しい施設での楽しい毎日。

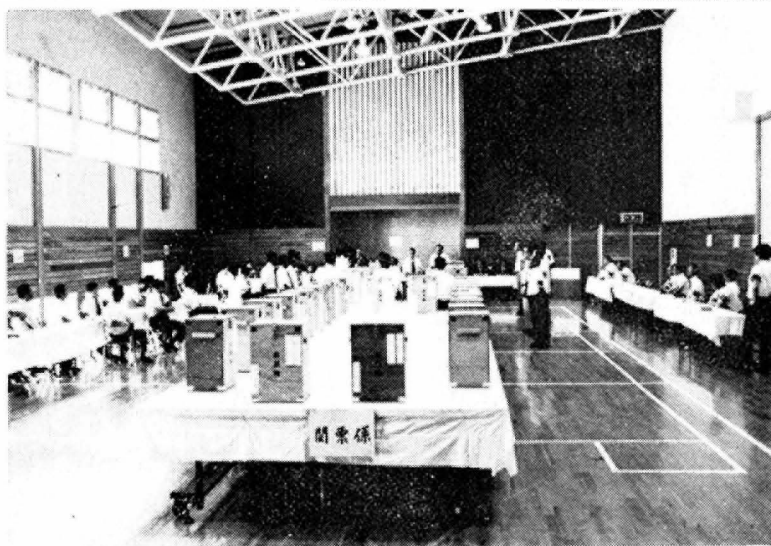


←2月17日 子どもの雪まつり
晴天に恵まれ、子どもたちは楽しい一日を過ごした。



→6月22日 衆参両院同日選挙

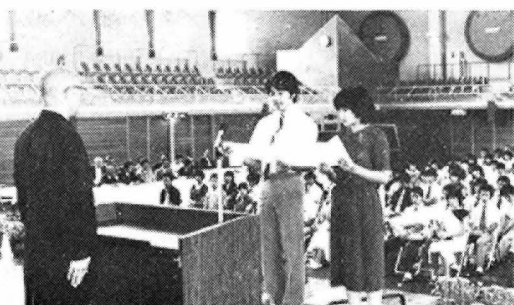
とまどう投票者が多かった。開票は翌日、広域体育館で。



8月7日 子どもの祭典 町で合宿していた大鵬部屋のおすもうさんと綱引き。夜は60発の花火を楽しむ。

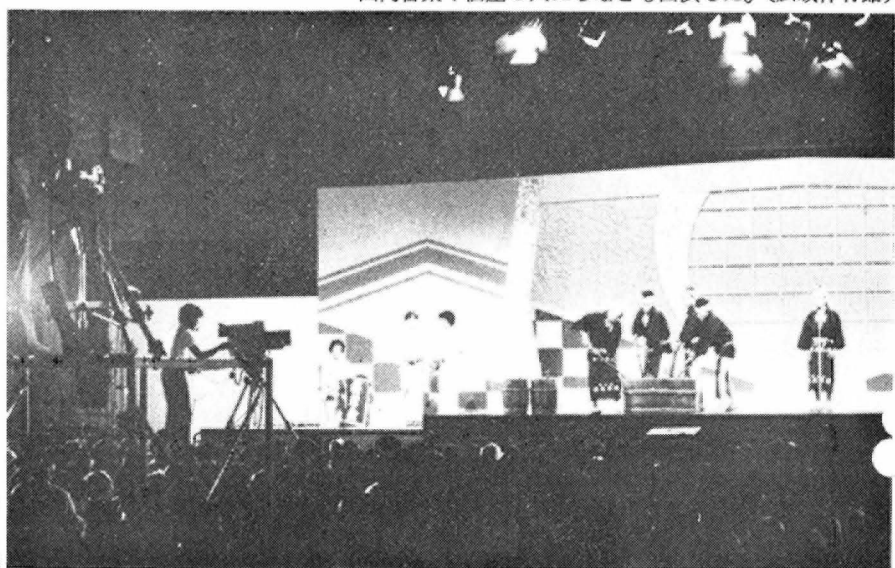


9月10日 敬老式 米寿のお祝いに寿座布団を贈られた館岡さん。敬老祝金は今年から2歳引き下げられ78歳以上のお年寄りに贈られることになった。



8月15日 新成人を祝う若人たちのつどい 新成人のことは読み上げる猿田さんと伊藤さん。今年はバスで町内の施設などを見学。

↓9月5日 合併25周年記念「ふるさとの民謡」ビデオ撮り 山内番楽や酒屋の人たちなども出演した。(広域体育館)



↘9月14日

全町体育祭

優勝旗は再び上山内に。

雨のため2週間後に行われたが、当日はさわやかな秋晴れ。



↑10月31日～11月4日 産業文化祭 町民センターには町政展のコーナーも設けられた。会場は町民センターのほか広域体育館と農協会館。

←11月3日 躍進25周年記念式典 町功労者として中村清次郎、小林富蔵、石井俊一の三氏が表彰された。

新民生児童委員決まる

お気軽に相談してください

新しい民生児童委員が決まりました。任期は三年です。

民生委員は、民生委員法に基づき、地域社会の福祉を増進することを目的として市町村の区域におかれては民間奉仕者です。その職務は地域住民の生活状態を把握し、要保護者の相談に応じ、その自立更生を援助することです。また、福祉事務所長や市町村長などの行政機関に協力し、社会福祉施設と密接に連絡しあい、その機能をおよぼすなど、きわめて広範囲におよんでいます。

このほか、主として低所得者を対象として、生活上のあらゆる心配ごとの相談に応じており、世帯更生資金制度の実施面にも大きな役割を果たしています。

さらに民生委員は児童福祉法によって児童委員にあてられ、児童福祉の増進にも重要な任務を持っています。

主な相談内容は次のとおりです。お気軽に担当民生委員にご相談ください。

健康、生活費、家族関係、年金、保険、生活環境、仕事、住宅等

▼民生児童委員

広ヶ野、希望ヶ丘

佐々木勢子(広ヶ野)

田町・上田町 藤原フミ(田町)

今町、御蔵町、小池町、仲町 藤本 正善(今町)

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

川原町、新町、一番町

安東 晃子(川原町)

古川町 尾形 ヒデ(古川町)

紀久栄町、長町 二方 シワ(紀久栄町)

新畑町 米田 アユ(新畑町)

矢場崎 児玉 コト(矢場崎)

築地町、米沢町 八木下照全(築地町)

畑町(一部) 工藤 トキ(畑町)

畑町(一部) 千葉 一郎(畑町)

昭辰町、雀館 小林 節三(昭辰町)

中川原、館町、樋口 佐藤 キミ(中川原)

上樋口、岩城町 猿田ハルエ(上樋口)

久保、館越 一関 容子(久保)

岡本 佐々木武之助(岡本)

野田 千田 節郎(野田)

浦横町 小玉 安長(浦横町)

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

菅 二五七六

帝釈寺 石井由太郎(帝釈寺) 菅 九五一二

町村、門前 伊藤 キミ(町村) 菅 三六一六

蓬内台 千田安紀子(蓬内台) 菅 二〇二二

寺 庭 石井長四郎(寺庭) 菅 二二〇六

中 村 佐藤 一美(中村) 菅 二二〇九

平ノ下、小野台 金野養之助(小野台) 菅 二一五四

水 沢 川島 タツ(水沢) 菅 二八五一

恋地、坊井地 小玉 勇悦(恋地) 菅 二五二九

杉 沢 石川三五郎(杉沢) 菅 二五三三

合 地 金沢 周治(合地) 菅 二六二七

下山内 大石賢之助(下山内) 菅 九五八七

上山内 朝野カチヨ(上山内) 菅 九六八四

富 田 阿部 金一(富田) 菅 二四九八

八田、御蔵下、台 伊藤直一郎(八田) 菅 二二七九

脇村、乙市 伊藤 重美(脇村) 菅 二二三四

落 合 伊藤多右衛門(落合) 菅 二〇五一

高田、千日 小玉 チャ(高田) 菅 二〇七七

北北口 小玉徳太郎(高樋) 菅 二〇一九

小川口、湯ノ又一区、二区 小玉 ミネ(湯ノ又) 菅 二九三七

湯ノ又三区・四区 畑沢 一視(湯ノ又) 菅 二九三七

菅 二九三七

菅 二九三七

菅 二九三七

浅見内一区、二区、三区 菅 二六一五

松橋正之助(浅見内) 菅 二二六三

浅見内四区、五区、六区 渡辺 シゲ(浅見内) 菅 二四五二

黒 土 石井 良司(黒土) 菅 二四一九

小 倉 石井 久一(小倉) 菅 九六九一

大川一区 浅野慶一郎(大川一区) 菅 二六七一

大川二区、下樋口 嶋崎善治郎(下樋口) 菅 三二七七

大川三区 北島宇一郎(大川三区) 菅 二〇四八

大川四区 田口 ヒサ(大川四区) 菅 二一八一

西 野 千田ミチコ(西野) 菅 九二三四

谷地中、石崎、曙町 加藤 正松(石崎) 菅 八郎鴻三二六〇

役場窓口業務は 年末も行います

役場は十二月二十八日から一月四日まで年末年始の休みとなりますが、窓口業務(戸籍)については、次のように三十一日まで行います。

なお、休みの日も職員が役場に常時おりますので、急用の場合は日直や宿直(21200)に相談してください。

12月28日(日曜日)

29日・30日 平常どおり

31日 正午まで

1月1日 2日 3日(休み)

4日(日曜日)

昭和46年以降の本町のおもな調査結果

調査年次	事業所数	従業者数	製造品出荷額
46	109	1,894	588,848万円
47	113	1,926	693,737
48	120	1,994	1,035,369
49	123	1,983	1,075,029
50	120	1,855	929,721
51	121	1,742	1,055,851
52	117	1,700	1,097,192
53	109	1,659	1,144,631
54	111	1,708	1,543,691

工業統計に ご協力を

今年からエネルギー消費も調査

工業統計調査は、製造業に属するすべての事業所を対象として毎年行われる調査で、従業者数、製造品出荷額、原材料使用額などを調査して、工業の実態を明らかにすることを目的としています。

また、今年から始まるエネルギー消費構造統計調査は、製造業に属し従業者数が三十人以上の事業所を対象として行うもので、燃料

調査員が調査票をお配りし、一月十日ころ回収にうかがいますのでその間に記入してくださいようにお願いします。

この調査は、法律の定めによる国の指定統計で、統計を作るためだけのものであり、調査票の内容が、他に漏れることのないよう特に配慮することになっていますので、ありのままを正確に記入されるようご協力ください。

調査結果は一年間の製造業の実態を把握し、国、県や町の施策の基礎資料としても活用されています。

路上駐車は 除雪のじやま

除雪のじやま

町では、冬期間の交通を確保するため除雪態勢に入っています。

除雪は主要な幹線道路から随時行い、できるだけ臨機応変に各地区の町道に入ります。しかし、狭い路地などには除雪車が入れない

ので、町内のみなさんが除排雪を行うようにお願いします。

除雪能力を高めるために、次のことを守ってください。

①路上駐車をしない。

②路上に物を置かない。

③道路に排雪しない。

※除雪についての問い合わせは建設課まで。

および電力の使用状況、自家発電設備、蒸気ボイラ設備などを調査して、製造業におけるエネルギー消費の実態を明らかにすることを目的としています。

調査は十二月三十一日現在ですが、二十五日ころに

全県中学校バスケット

五一中三回目の優勝なる

女子は健闘し三位

第十一回秋田県中学校新人バスケットボール大会は十二月六日、七日、秋田市・市立体育館と県立体育館で行われ、五城目第一中学校の男子チームが三年ぶり三回目の優勝をなした。

大会には男女とも県南・中央・県北から四チームずつ参加した。五城目第一中学校は中央地区を代表して男女が出場、男子優勝、女子三位の成績であった。

戦評 (島山敬一)

中央地区大会一位で全県大会に出場した男子チームは、予選リーグでは県南二位の須川中、県北四位ながら須川中を破った花輪一中と対戦した。

両試合とも前半で勝敗を決め、後半にはフルメンバーを出場させる余裕ある展開で、昨年ならなかった決勝トーナメントを決める。準決勝の大館対五城中戦は事実上の決勝戦とみられた。前半リードしたものの後半立ちあがり四ゴールを連取され、七点差につめられ



優勝した男子チーム

たに逆点を加え、ピンチをきり抜け、長身者を揃え、優勝候補No.1をあぶなげなく破る。

決勝戦は県北三位ながら伝統を誇る琴丘中との対戦となり、手の中を知り尽く感の両軍ベンチは、前半相手のでかたをうかがうスロースペースのゲーム展開となった。後半五分すぎから前半不調だった五中のエース斎藤(新)のシュートが決まり四点をリード、ゲームの主導権をとり、残り一分台に河内のシュート、終了二秒前には斎藤のフリースローが成功し、三年ぶり三回目の優勝を確定した。平均身長一六三センチと小柄なチームながら果敢な空中戦をいどみ優勝した選手の健闘をたたえ、今後に期待したい。

【女子】

女子チームは、中央地区二位、全県五城目大会三位にとどまる成績であったが、よく健闘し、予選リーグでは県南二位の協和、県北三位の二ツ井中をかわし、決勝トーナメントに進む。

準決勝戦は結果的に優勝した生保内中と対戦。後半の中盤十四点とリードを奪われながら終盤デヘンスが成功し懸命に追い上げたが僅かに及ばず三位にとどまる。故障者をかえながらの健闘はこれからの活躍に大いに期待される。

大会記録

男子

予選リーグ

五城目一中 57 2334 26 須川中

五城目一中 62 2834 38 花輪一中

準決勝

五城目一中 53 2330 41 大館一中

決勝

五城目一中 34 2014 30 琴丘中

女子

予選リーグ

五城目一中 43 2122 36 協和中

五城目一中 45 2025 42 二ツ井中

五城目一中 51 2922 54 生保内

新春ロードレース

馬場目走友会では、一月一日に住民の健康づくりと体力の向上をかねて新春ロードレースを行う計画である。競技内容および参加申し込み方法は次のとおり。

▽コース

・中学生(小学生を含む)

馬場目児童館前→小野台バス停前折り返し→馬場目児童館前

高校生/29歳まで 馬場目児童館前→平ノ下/中村寺庭→馬場目児童館前

30歳/39歳まで 馬場目児童館前→帝釈寺草皆商店前折り返し→馬場目児童館前

40歳以上 馬場目児童館前→門前入口前折り返し→馬場目児童館前

2・0 KM 3・5 KM 4・6 KM

▽日程

受付 10時 馬場目児童館

開会式 10時30分

スタート 11時

閉会式 11時45分

▽申し込み、問い合わせ先

馬場目町村 伊藤鉄己

▽申し込み期限 12月25日

電話 9804

交対協コーナー

年末期の交通事故を防止しよう!

～ドライバーは安全運転に徹しよう～

今年もあと1か月余りで終ろうとしています。

この時期は、1年の締めくくりのときでもあり、人や物の動きが活発化し、ドライバーも歩行者も気分的に何かとあわただしくなります。

ドライバーも歩行者も、次のことに注意し事故を起こさないよう、あわないう注意してください。

① 歩行者が心がけること

子供やお年寄りの方は、特に、とび出しや直前横断をしないよう気をつけてください。

② ドライバーが心がけること

スピードの出し過ぎ、無理な追越し、わき見運転、

飲酒運転などの違反行為が目立ち、例年交通事故が多発しています。ドライバーの方は、

○交通ルールとマナーを守ること

○正確な認知、適確な判断、確実な操作という運転の三原則を実行し、安全運転に努めてください。

また、夜間の運転にあたっては、

○日没の前後は、特に細心の注意を

○速度は控え目に、車間距離はより長めに

○対向車のライトのげん惑防止を

○意地の張り

合いを避け、

ゆずり合い

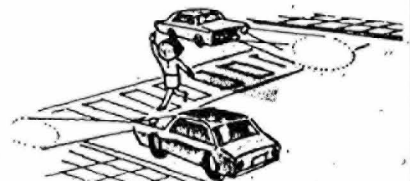
の精神で

以上のこと

に気をつけて

運転しまし

う。



夜間走行では歩行者や障害物などの発見が遅れる

1月

ごみ収集日

町内名	56年 1 月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ヶ野	6	10	17	22	28	
希望ヶ丘	6	10	17	22	28	
田町	6	10	17	22	28	
上田町	6	10	17	22	28	
今蔵町	6	10	17	22	28	
御池町	6	10	17	22	28	
小川原町	6	10	17	22	28	
新町	7	12	19	23	29	
一番町	7	12	19	23	29	
占川町	7	12	19	23	29	
紀久栄町	7	12	19	23	29	
中川原町	7	12	19	23	29	
館城町	7	12	19	23	29	
築地町	8	13	20	25	30	
畑町	8	13	20	25	30	
新畑町	8	13	20	25	30	
矢崎町	8	13	20	25	30	
甲町	9	14	21	27	31	
長沢町	9	14	21	27	31	
米館町	9	14	21	27	31	
雀辰町	9	14	21	27	31	
昭大川一	9	14	21	27	31	
昭大川二	9	14	21	27	31	
昭大川三	9	14	21	27	31	
昭大川四	9	14	21	27	31	
馬場目	5	14	24			
富津内	5	14	24			
富津川	5	14	24			
大川(本村以外)	9	19	29			
大川(本村以外)	9	19	29			
面湯川	9	19	29			

直接搬入の場合は
前もって焼却場へ
ご連絡ください。
(電 ② 3958)

< 直接搬入料 >

2ト未満	1回につき	6000円
2ト以上4ト未満	1回につき	9000円
4ト以上	1回につき	13500円

※ 収集日が多少変更になることもありますが、必ず収集日表を必ず見てください。



スリップ事故の多い時期



【おしらせ】

小児マヒ

生ワク投与は22日・23日

小児マヒの生ワクチン投与を次のとおり行いますので、対象となつておられる方は必ず受けてください。

問診票はお子さんの健康状態をみきわめるための重要な資料ですので、必ず保護者が記入して、当日、母子健康手帳といっしょに持参してください。

また、お子さんの体温を測定し

て健康状態を確かめからおいでください。

▼日程

12月22日(月)

五城目・面湯地区

担当 畑沢医師

12月23日(火)

馬場目・内川地区

富津内・大川地区

担当 川崎医師

▼時間 午後1時～2時(受付)

▼場所 広域体育館

▼対象

・一回目投与

昭和55年2月1日から昭和55年7月31日までの出生者

・二回目投与

昭和54年8月1日から昭和55年1月31日までの出生者

・未投与者

昭和54年8月1日以前に出生した者

公共職業安定所から

求職受け付けは木曜日

午前10時～11時

秋田公共職業安定所では、五年十二月十五日から五十六年二月十三日まで、求職受け付けを町村別に曜日と時間を指定して行うことにしています。

五城目町在住の方の受け付けは、毎週木曜日の午前10時から午前十一時までとなっています。これは受け付け時の混乱緩和と保険給付を適正円滑に行うための措置です。で、ご協力をお願いします。

十二月二十七日から一月五日までは、年末年始の休暇と事務整理のため、求職受け付け業務は行われませんので注意してください。

自家用車での来所は遠慮してください
毎年十二月中旬から雇用保険受給者の自家用車による来所が多く

なり、違法な駐車が目立つようになります。また、今年は構内工事のため駐車場を利用することがむずかしい状態ですので、自家用車による来所を遠慮するようにお願いします。

技能士訓練課程の受講生を募集

配管・造園・左官・塗装

秋田県総合職業訓練センターでは、一、二級技能士訓練課程の受講生を募集しています。

募集内容は次のとおりです。

▼訓練科目

一級：配管科
二級：造園科、左官科、塗装科

▼訓練期間

一級：昭和56年2月3日～

2月27日
二級：昭和56年2月3日～2月25日

ただし、土曜日、日曜日、祝日は休みとなります。

▼訓練時間 午前9時～午後4時

▼訓練定員 各科とも三十人

▼受講料 一級：六千円
二級：五千円

▼受講資格

次の実務経験年数に達していれば受講できます。

・一級

中学校卒業の者：14年
訓練校修了(一年課程)の者：10年

訓練校修了(二年課程)の者：9年

高等学校卒業の者：12年

・二級

中学校卒業の者：5年
訓練校修了(一年課程)の者：2年

訓練校修了(二年課程)の者：1年

高等学校卒業の者：3年

▼訓練受講者の特典

訓練期間中、欠席することなく受講し、修了試験に合格すればそれぞれの技能検定の学科試験が免除されます。

▼事業主の特典

雇用保険加入事業主で、受講者が被保険者であつて平常賃金を支給されてこの訓練を受ける場合、申請手続きをすることによって、次の金額が事業主に職業訓練派遣奨励給付金として支給されます。

・受講者一人一日につき

1730円

雇用促進事業団から4100円

計 5830円

▼受講申し込み

「はがき」に住所、氏名、生年月

・農村部 12月20日まで

・町部 12月25日まで

日、職業(勤務先)を記入して秋田県総合職業訓練センター(秋田市新屋町字砂奴寄一)に申し込んでください。

▼募集期間

昭和55年12月1日～

昭和56年1月10日

▼問い合わせ先

秋田県総合職業訓練センター

電話 0188(24) 2548

年賀状の元日配達

十二月二十日までポストへ

十二月十五日から年賀状の受付を開始していますが、十二月二十日までにポストへ入れてくだされば、県内外を問わず確実に元日配達されますので、お知らせいたします。

温水プール29日から3日まで休館

屋内温水プールは十二月二十九日から一月三日まで、年末年始の休館となります。
なお一月四日からは平常どおりです。

し尿汲み取りはお早目に

年末のし尿汲み取りは次の日までとなっていますので、必要のある家庭は、業者の方へ早目に申し込んでください。
なお、仕事開始は1月7日となっています。